

地域おこし協力隊 奮闘記 Vol.31



今月は
数田佳奈が
書いています

「まちづくりとアート」

先月は「移住」をテーマに私の活動を書きました。今回は、もう一つの活動テーマ「アート」についてです。なぜ、私がアートを軸とした活動をしているのかを書きたいと思っています。

先月は「移住」をテーマに私の活動を書きました。今回は、もう一つの活動テーマ「アート」についてです。なぜ、私がアートを軸とした活動をしているのかを書きたいと思っています。

きっかけ作り

一つはきっかけ作りです。まずはこの町を知ってもらうために大山にきて欲しい。そのため足の届がかりの一つとしてアートプロジェクトを開催



▲大山アニメーションプロジェクト2016

しています。

楽しいところには人が集まる。実際に昨年からはじめた「大山踊るワワ祭り」は、町内外から2年連続で1000人以上、11月12・13日に行った「大山アニメーション祭」にも約2000人の参加者がありました。イベントそのものを楽しむだけでなく、そこで新しい仲間ができるなど、人と人が繋がるきっかけになるのも私にとって嬉しいことです。

楽しく暮らしたい

もう一つは、楽しく暮らす人を増やしたい。地域おこし協力隊として活動している中で、いろいろな方と出会い、お話しする機会があります。そこでよく聞かれるのが「地域活性とはなんですか?」という質問です。意見や方法はたくさんあるでしょうが、私は「住んでいる人が楽しく、生き生きと生活していること」だと思っています。



▲大山ガガガ学校

アートのチカラ

これまで、いろいろなジャンルのアーティストの方とアートプロジェクトに関わってきました。プロジェクトを通して感じることは、アートは普段の何気ない景色、文化などの日常を少し違った視点で見ることができ、時にはまるで新しい物のように蘇らせ、もう一度命を吹き込む力を持つているということです。

私の住む、長田集落には旧長田分校があります。この分校は昭和51年に廃校になりました。以降は集落のしめ縄作りなどで年に数回使われていただけとなっていました。この旧分校を2016年2月に始めた「大山ガガガ学校」

という企画の校舎に利用させていただきます。

分校が使われることに集落の方も喜んでくださり、同級生など各方面に伝えていただきました。当時の写真を持ってきてくださったり、分校に通っていた頃のお話しをしてくださったり。子ども時代に戻ったかのように楽しそうにお話しをされる方もありました。

また、最近集落内でも分校に注目する方が増え、なんとか保存しようという動きも出てきました。

アートプロジェクトやイベントに参加してくださった方からは、新しい発見や、楽しみ、目標などを見つけたとの声をいただくこともあります。自分自身も同じように感じています。その積み重ねを一つずつ増やしていくことが暮らしを豊かにし、町の人が元気になって、楽しいまちがつくられていくのではないかと思います。

◆問い合わせ先

地域おこし協力隊・数田

(0800・2942・6517)